

# キャップで作る！ピクセルアート

学校法人角川ドワンゴ学園 N中等部 奈良西大寺キャンパス  
多賀凌央／辻山 寛稀／加藤 寛貴／西本 悠翔／菊井 覚仁／浅利 優佳

## 着目した課題やターゲット

- ・ペットボトルにもボトル/キャップ/ラベルで分別する必要があると知る
- ・現状キャンパスではペットボトルの分別がされていない点に着目
- ・キャンパスでゴミ箱を使用する生徒や職員をターゲットに設定し検証

## 取り入れた「遊び心」や、その行動をしたくなる工夫

- ・ペットボトルを分別しそれぞれポスターに貼ってもらうことで視覚化
- ・最終的に一つのアートとなることを目指すことで遊び心を設ける

## 仕掛けのイメージ画像や写真



## 実際に行ったことと結果

### 〈仕掛けの目的〉

- ・本来廃棄されるべきものを再利用し、ピクセルアートを制作する
- ・キャンパスの生徒や職員に分別への関心を持ってもらう

### 〈実施したこと〉

- ・キャンパス内のゴミ箱上に説明書きとアートのベースを設置
- ・高等部・中等部の生徒に対して、キャップを貼ってもらうように説明し、協力を促した

### 〈結果や考察〉

- ・必要なキャップの約9割が集まり、アート制作に活用できた
- ・分別については、意識していないと気づかない場合が多く、誰かからの促しが重要であることが確認できた

### 〈今後の課題と展望〉

- ・今後は規模を拡大し、地域と連携することで、街に散乱している ゴミや分別されていない廃棄物を減らすことを目指したい
- ・その際、今回のような能動的に参加しやすい仕掛けを考案し、私たちのような立場から積極的に呼びかけることが必要だと感じている